

補充問題

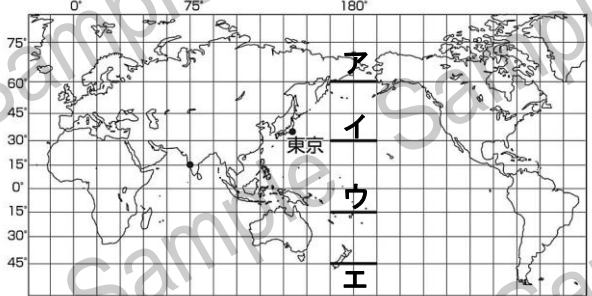
1 世界の姿

問題

1 次の問いに答えなさい。

(1) **地図Ⅰ** 中の **—** は、地図上では同じ長さですが、地球上での距離はそれぞれ異なっています。**ア～エ** のうち、地球上での距離が最も短いものを1つ選びなさい。(山形) []

地図Ⅰ



(2) **地図Ⅱ** は、東京を中心とした距離と方位が正しい地図です。**地図Ⅱ** から読み取れることについて、**a・b** の正誤の正しい組み合わせを、下の**ア～エ** から1つ選びなさい。(長崎)

地図Ⅱ



※東京を中心として、半径5000kmごとに円を記している。

- a 東京からケープタウンまでの距離は、東京からブラジリアまでの距離より長い。
- b フェノスアイレスは、東京からほぼ東の方位に位置する。

ア a—正 b—正 **イ** a—正 b—誤

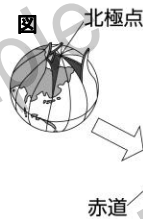
ウ a—誤 b—正 **エ** a—誤 b—誤

[]

(3) **記述** **地図Ⅱ** の短所を、簡単に書きなさい。

[]

2 **図** は、地球儀をみかんの皮をむくように経度30度ごとに12等分し、並べたものです。地球を1周するため北極点を出発し、**図** の **→** で示した



とおりに、ある経線に沿って進み、南極点を通過した後もそのまますすぐ進みます。その時に通る経線を、**図** の **--->** で示した**ア～エ** から1つ選びなさい。(岩手)

[]

解答

1 (1)ア

(2)ウ

(3)(例) 中心でないほかの2地点間の距離と方位は、正しく表されない。

別解 中心から外側へいくほど形がゆがむ。

2 イ

解説

1 (1) **地図Ⅰ** は緯線と経線が直角に交わっています。このような地図では、赤道から離れるほど長さは長く、面積は大きく表されます。

(2) **a** は、東京からケープタウンよりも、東京からブラジリアまでの距離のほうが長いため、誤りです。

(3) **地図Ⅱ** は、中心からの距離と方位が正しい地図のため、中心以外の2地点について同じことはあてはまりません。

2 **→** は、南極点を通過したあと、経度 180 度分反対側を通過します。図は経度 30 度ごとに 12 等分されているので、 $180 \div 30 = 6$ で、みかんの皮のような形の 6 個右の **イ** を通ります。